

報 告 書

石鮠ふれあいの里を利用していた幼稚園、ボーイスカウト団体等から、加茂川での水遊びなどの利用状況について聴取した内容は、下記のとおりです。

1 ボーイスカウトの団体関係者から聴取した内容では、開設当初は愛媛県連合や東予地区のボーイスカウト、ガールスカウトなども利用していましたが、当時のリーダーたちは「増水などの危険について何も知らされてなく、救命具などを用意して泳いだ記憶はない」と話しています。

2 西条市の直営から「大保木をよくする会」に管理が任されるようになって、「ふれあいの里」を紹介する関係者のブログにもあるように「水中おさかな観察会」や「昆虫合宿」などを環境教育プログラムに組み込んで PR したことで西条市内を中心に新居浜、今治などの愛護班、幼稚園のグループ・団体、家族連れの利用が増えたとのことです。

このブログでも明らかなように、「水中おさかな観察会」では何の救命具も持たず、ゆるやかな流れの中で、安心して楽しそうに水中観察している写真を掲載しています。

3 西条市内では、事故があった前年まで、たから幼稚園などが夏場に泊り込みで利用又、禎瑞小学校学年親子活動も利用実績があり、事故現場やその少し下流で水泳や水遊びをしていましたが、いずれも救命具などは所持していませんでした、とのことです。

禎瑞小学校学年親子活動の引率責任者は「当時、あのよう増水の危険を注意する看板が建てられていたなら、利用しませんでした」と話しています。事故があった昨年夏からは、水遊びを止めたそうです。

以上、ご報告致します。

2013年11月29日

ロザリオ学園 事務局